

[はじめに](#)[まずはかゆみを知ろう！
目次へ戻る](#)[かゆみを採点しよう！
目次へ戻る](#)[かゆみをやっつけよう！
目次へ戻る](#)[このページを印刷する \(PDF:170KB\)](#)**①** [まずはかゆみを知ろう！](#)**(5) こすり過ぎによる目の病気に気をつけよう・・・白内障や網膜剥離など**

アトピー性皮膚炎では、顔がとてもかゆくなります。おでこ、髪の生え際、とりわけ目のまわりがとてもかゆくなります。かゆみが強くて目をこすったりたいたいたりするために、いろいろな目の病気が発生します。日本眼科医会の発表によれば、アトピー性皮膚炎の患者さんの52.5%が眼瞼炎、39.5%が結膜炎、23.8%が白内障、11.6%が角膜上皮障害、2.1%が網膜剥離という目の病気になっているとのことです。白内障や網膜剥離では、ひどく視力が低下したり失明することもあります。

目のまわりに皮膚炎があつてかゆみが強いと、どうしても目を強くこすってしまいます。いつも目をたいたいている人もいます。眼瞼炎と結膜炎はアレルギーによるものですが、白内障と網膜剥離はたたくことによって起こります。アトピー性皮膚炎に伴う目の病気から瞳を守るために、アトピー性皮膚炎の症状をいち早くコントロールし、かゆみを取り除き、目をこすったりたいたいたりするのを止めることが大切です。目に症状がある人は、眼科も受診しましょう。



正常な結膜



アトピー性結膜炎



アトピー白内障

[<< 前のページへ](#) [目次へ >>](#)

厚生労働省科学研究費研究班(平成17～19年度)「アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究」作成

Copyright(c)2006 kyushu University, GraduateSchool of Medical Sciences, Department of Dermatology. All Rights Reserved.